

製品班 企画書

1. 目的

「おいしい」をより多くの消費者に届け、またこの団体の認知度向上のために、営業販売の実現と責任を持った商品管理をすること。

2. 目標

イベント販売に向けて製品・備品の徹底管理と、消費者に関心を持ってもらうために、コーヒー・ピーベリー・フェアトレード・ラオスに関する情報を広める。また、営業活動を通して地域の人たちにこの団体の認知度を高める。

3. 場所

営業場所は大学周辺の個人経営の飲食店の他、今年は範囲を広げフェアトレード・コーヒーに関心をもつ店舗にも協力をお願いする。販売場所はイベント班が企画する各イベントや大学内、他者や他団体からの依頼での場、団体メンバーや箕曲先生に連絡があったときの個人買い取りが考えられる。

4. 対象

東洋大学のキャンパス内または学際で販売する場合は東洋大学の学生や先生、利用者を中心に販売の対象とする。営業販売の場合は、学生はもちろん大学周辺の住民や社員もターゲットである。イベントに出店する場合は、イベント参加者・コーヒー愛好者・国際・フェアトレード・ラオスに精通した人たちも対象である。

5. 班活動

主な活動内容は以下の3つである。

(1)製品・備品の管理

→イベント出店の際、備品の紛失を防ぐため、出店前後に備品チェックシートを用いて、徹底した管理を行う。また、製品がいくつあるのか常に把握する。

(2)イベントでの展示物作成

→大学内でのイベントでは、ブラックボードの作成・全体のレイアウト構成・それから消費者に向けたコーヒー・ピーベリー・フェアトレードに関する展示物を作成する。

(3)営業活動

→団体の商品を取り扱っていただける店舗への営業販売を行う。

6. 団体製品情報

味、焙煎度合、豆の種類(ピーベリー)、パッケージデザインなど、(株)流通サービス様の援助の下、団体1期メンバーが追求、話し合いを行い製品化。

学生で全てを手がける。

(1)コンセプト

「上質」=害虫や環境変化に弱いとされる商品種アラビカの起用や希少などピーベリーの100%使用。

「鮮度」=製品はすべて販売1ヶ月以内に国内で焙煎処理を施し、消費者様に最高にプレミアムなコーヒーをお届けするという事を一番に考える。

(2)商品名

「チャンパコーヒー」=ラオスで使用されているラオ語で「チャンパ」は国花であるプルメリアを指し、花言葉に「気品、上質」を含む。我々の商品コンセプトに合致するため起用。

7. 商品内容

2種類の焙煎度合いにより味の楽しみ方に広がりをもたらす。

中煎り=酸味とコクのバランスがしっかりしており、華やかな香りが広がる。

深煎り=舌に上品なコクが残りながらも、穏やかな味わい。

アイスコーヒーを作ることに適している。

焙煎豆 (中・深煎り) 200g	¥800
焙煎豆 (中・深煎り) 100g	¥500
挽き豆 (中・深煎り) 200g	¥800
挽き豆 (中・深煎り) 100g	¥500
ハンドドリップコーヒー(ホット) 250ml	¥200

8. スケジュール

5月	2年生を中心にコーヒーの学習 営業販売候補場所の調査
6月5日	株式会社流通サービス訪問 営業委託準備 キックオフパーティへ向けて思案・準備
7月	営業委託販売開始
8月～11月	営業販売、依頼販売、イベントへの出品開始
11月	販売終了(予定)

イベント班 企画書

1. 目的

- 1-1. 定期的にイベントを開くことで、フェアトレードに関心がある人や、授業に関心を盛ってくれている人以外の一般の人々など、できるだけ多くの人にこのプロジェクトを知ってもらえるようにする。
- 1-2. イベントの場で販売することでより多くの人に商品を買ってもらい、その売り上げを次のイベントの準備資金や支援品を購入する資金に回せるようにする。

2. 目標

- 2-1. ドリンク販売を増やし、より多くの人にラオスのコーヒーの味を知ってもらえるようにする。
- 2-2. イベントの担当者以外の人で集客数や客層のリサーチを行う。

3. イベントの候補について

3-1. キックオフ

【日時】 7月8日(金)

【場所】 白山キャンパス内の教室

【目的】 今年度の活動方針の説明をし、昨年度の活動報告と新たに決定した支援品の発表をする。また製品の販売をする。

【売り上げ目標】 18kg

3-2 北区グルメフェス

【日時】 9月10日(土)、11日(日)

【場所】 飛鳥山公園

【目的】 商品を販売することでこのプロジェクトについて知ってもらう。

【概要】 北区内の飲食店 27 店舗が参加し、区内のグルメを一度に味わうことができる。

【売り上げ目標】 9 kg

3-3. あかぎマルシェ

【日時】 10月下旬

【場所】 神楽坂・赤城神社

【目的】 商品を販売することでこのプロジェクトについて知ってもらう。

【概要】 神楽坂・赤城神社で毎月行われている。アクセサリーや食品など約 30 ブースが出店している。

【売り上げ目標】 3 kg

3-4. 映画祭(仮)

【日時】 11月5日

【場所】 新大久保

【目的】 ドリンクを販売することで、映画祭に来ている方々にこのプロジェクトについて知ってもらう。

【概要】 多国籍化・重層化が進行する新宿区において、映画というコンテンツを通して、相手の文化を尊重し、相互理解を深められるとされる。

【売り上げ目標数】 4.6kg

3-5. 白山祭

【日時】 11月5日(土)、11月6日(日)

【場所】 白山キャンパス内

【目的】 このプロジェクトやフェアトレード、ラオスについて多くの人に知ってもらうこと。また、ドリンク販売と製品販売も行う。

【概要】 東洋大学で毎年開催されている学園祭に出店する。

【売り上げ目標】 9 kg

3-6. キッチンカー

【日時】 11月下旬

【場所】 東洋大学周辺

【目的】 ドリンク販売をすることでこのプロジェクトについて知ってもらう。

【概要】 キッチンカーでの販売

【売り上げ目標】 1 kg

3-7. 学内販売

【日時】 12月上旬

【場所】 白山キャンパス内教室

【目的】 東洋大学の学生に団体の活動を知ってもらうこと。製品の販売も行う。

【概要】 今年最後の製品販売なので、二年生を中心に活動や商品について説明をしていく。

【売り上げ目標数】 14 kg

3-8. イベント外販売

【売り上げ目標数】 29.2 kg

3-9. 営業販売

【売り上げ目標数】 7 kg

広報班 企画書

1.目的

フェアトレードやラオス産コーヒーに関する情報を発信し、フェアトレードを知らない人に「フェアトレード」を知ってもらおう。また、ラオスの現状やコーヒー、当団体に関する情報を発信し、「ラオスの教育・衛生問題」「当団体の活動」を多くの人に知ってもらうことが目的である。

2.目標

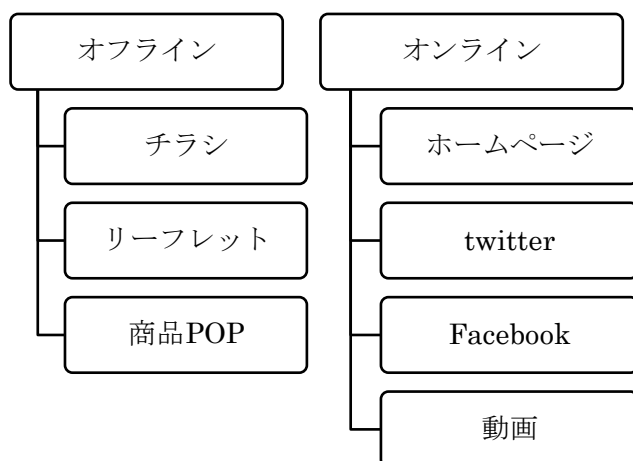
去年から継続している SNS やリーフレットを今年度用に再編し、当団体に興味をもってくれている人々が飽きないような広報を行う。

また、ホームページの内容を充実させる他、昨年度とは異なる方法で広報をおこない、新たに多くの人に「フェアトレード」「ラオスの教育・衛生問題」「当団体の活動」を知ってもらう。

当団体の活動に関することや、コーヒー、ラオスに関する動画を作成し、発信する。

今年度の新たな目標として、**インフォグラフィックス¹**を用いた視覚的に分かりやすい広報に挑戦する。

3.広報の方法



①チラシ(フライヤー)・ポスター

【概要】学内・外販売や報告会等のイベントを告知する。チラシはゼミや学科の必修授業等で配る。ポスターは六号館入り口エスカレーター前や六号館内等に掲示する。

【目的】「当団体の活動」を知ってもらい、イベントに足を運んでもらう。

【対象】東洋大学生、教授、東洋大学で働く事務員

¹図やグラフなどを用いて、数値や情報を視覚的に分かりやすく表現したもの

②リーフレット

【概要】「当団体の活動」を中心に、商品情報やラオスに関する情報を掲載する。イベントに来てくれた人に配布する。

【目的】 イベントの来客者に「当団体の活動」「ラオスの教育・衛生問題」「フェアトレード」を知ってもらう。

【対象】 イベント来客者

③商品 POP・看板(イベント班と要相談)

【概要】 価格、商品情報を載せる。販売イベント時に使用する。また、学外の店舗に商品と一緒に置くために使用する。マスキングテープや手書き文字を用いて、おしゃれなカフェのようなデザインにする。

【目的】 販売イベント等で訪れたお客さんの購買意欲が増すような広報をおこなう。

【対象者】 来客者

④Twitter

【概要】 週に1回程度「当団体の活動」や(ラオス産)コーヒー、イベント告知をおこなう。顔文字や絵文字、ハッシュタグ、写真等を使用し、親しみやすくする。イベント前は閲覧者に関心を持ってもらえるよう、ラオスやコーヒー、当団体の情報等を積極的に発信していく。

【目的】 SNSを通して、多くの人に「フェアトレード」「ラオスの教育・衛生問題」「当団体の活動」を知ってもらう。

【対象者】 学生を中心とした若者、他のフェアトレード・学生団体、サラリーマン等 Twitterを使用する人

⑤Facebook

【概要】「当団体の活動」「フェアトレード」「ラオスの教育・衛生問題」に関する情報を月に1,2回発信する。絵文字等は使用せず、フォーマルな形でおこなう。また、写真を多く掲載し、視覚的にわかりやすく情報発信をおこなう。特にイベントの告知と報告を発信するために利用する。

【目的】 SNSを通して、「フェアトレード」「ラオスの教育・衛生問題」「当団体の活動」をより詳しく理解してもらう。

【対象者】 Facebookの利用者、他のフェアトレード・学生団体

⑥ホームページ

【概要】「当団体の活動」「フェアトレード」「ラオスの教育・衛生問題」に関する情報を掲載する。Twitter、Facebookと異なり、多くの情報を一覧できる点を活かし、団体に関する

基本的な情報を掲載し、他の SNS と連携させる。

【目的】「フェアトレード」「ラオスの教育・衛生問題」「当団体の活動」の概要を知ってもらう。

【対象者】インターネット利用者

⑦動画 (1)団体・商品 (2)スタディーツアー (3)おいしいコーヒーの淹れ方

【概要】

(1)団体・商品を紹介するための動画。

(2)スタディーツアーで撮影した写真に BGM をつけたスライドショー形式の動画。

(3)コーヒーの淹れ方を紹介する動画

【目的】

(1)団体や商品をイベント来客者に理解してもらう。また、SNS でも公開する。

(2)イベントの際にスクリーンに投影したりし、イベント来客者に「ラオスの衛生・教育問題」に興味を持ってもらう。

(3)普段家であまりコーヒーを淹れない人にも興味を持ってもらう。

【対象者】

(1)イベント来客者、SNS、インターネット利用者

(2)イベント来客者

(3)SNS 閲覧者

4.スケジュール

5月	HP、Twitter、Facebook の役割を明確化。定期的に更新。 事業計画書の作成
6月	2016 年度版のリーフレット作成 キックオフパーティのフライヤー作成
7月	動画作成 商品 POP・看板作成
8月	
9月	白山祭に向け 動画作成
10月	白山祭出店告知①チラシ・ポスター作成
11月	
12月	
1月	スタディーツアーの報告をインターネット上に更新。

※キックオフパーティ、白山祭以外のイベントは暫定であるため、スケジュールには記載されていない(イベントの詳細はイベント班の事業計画書参照)。イベント告知の①チラシ・ポスターは、それぞれのイベントの2週間前までに作成。

ラオス班 企画書

1. 目的

コーヒー販売から得た利益で、読書普及促進活動マニュアルと本棚を作成し、また絵本の購入にあて、それらを小学校に贈呈する

2. 目標

- ・ラオスを支援していく上で必要な情報を収集し、発信する
- ・絵本読み聞かせの教員用マニュアルを作成するにあたって、ラオスで教育支援を行っている、ラオスのこども、また本のことに詳しい先生などにお話を伺い、外部の方との交流を増やし、知識をつける
- ・ラオスタディーツアーのワークショップ内容を計画する

3. 実施計画

【前期】

4月
・ラオス班の1年間の事業計画を考える
5月
・ラオスのこども、シャンティを訪問する
6月
・キックオフパーティーの準備をする
・ポスターを作成する（①ラオス概説②ラオスの本の使用状況③ラオスの小学校の本の使用状況④読書の効果⑤絵本・教員用マニュアルを贈る理由）
・ラオス班通信を作成する（①ラオス概説②ラオスの本の使用状況③ラオスの小学校の本の使用状況④読書の効果⑤絵本・教員用マニュアルを贈る理由）
・キックオフパーティーでの発表内容を考える
7月
・キックオフパーティー
・教員用マニュアルの構成を考える 文、絵を考える
・ラオスタディーツアーのワークショップ内容を考える①

【夏休み中】

・教員用マニュアル構成を決定する（合宿時）
・教員用マニュアルの絵を描いてきてもらう

- | |
|--------------------------------|
| ・教員用マニュアル英文をラオス語にラオス人学生に訳してもらう |
|--------------------------------|

【後期】

10月
・教員用マニュアルを箕曲先生に最終チェックをしてもらう
・教員用マニュアルを完成させる
・ラオスタディーツアーのワークショップ内容を考える②
11月
・白山祭 ポスター展示
・ラオスタディーツアーのワークショップ内容を完成させる
12月
・ラオスタディーツアーのワークショップ予行練習をする

4. ラオスタディーツアーのワークショップについて

- ・絵本読み聞かせ教員用マニュアルを作成し、実際にラオスの小学校の先生に活用してもらい、小学生に読み聞かせをしていただく
詳しいことは検討中

5. 絵本について

- ・特定非営利活動法人ラオスのこどもで絵本を購入
絵本 1冊 700円～
- ・絵本の冊数
4つの小学校に10冊ずつ贈る（カプ村、ノンヤートウン村、プーマッコ村、プーオーイ村）
計 40冊
予算：50,000円

6. 教員用マニュアルについて

- ・ラオスのこども、また本について詳しい教員の方にお話を伺い、それを基に作成
- ・翻訳はラオス人学生にお願いする
- ・イラストレーションなどを上手く使い、コピー機を使用し作成
- ・マニュアルの冊数
4つの小学校に1冊ずつ（カプ村、ノンヤートウン村、プーマッコ村、プーオーイ村）
計 4冊
予算：10,000円

7. 本棚について

- ・ラオス人の方に木とペンキを購入していただき、スタディーツアーの時に作製
- ・本棚の寸法 横 40 cm、縦 60 cm、奥行き 35 cm
- ・木の値段 (10,000kip 日本円で約 150 円)
板 1 枚につき 25,000kip (約 375 円)
角材 1 本につき 35,000kip (約 525 円)
- ・本棚個数
4 つの小学校に 1 個ずつ
計 4 個
予算 : 10,000 円

8. 予算

- ・絵本 : 50,000 円
 - ・本棚 : 10,000 円
 - ・教員用マニュアル : 10,000 円
- 計 70,000 円